

## 【Iヨハネの手紙3章】

「私たちが神の子どもと呼ばれるために、～御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。～」(3:1)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

# SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.11.17 No.763

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。  
もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節



シロアム(週報)と逆転の勝利者(月報)

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>



イスラエル・ヨーロッパから多くの実りを携えてチームが帰ってきました。語られていた預言の成就を次々に見ています。

2004年からこの教会は出エジプト記12:2の御言葉で、11月を新しい年の初めとしてガリラヤ湖畔で新年礼拝が持たれています。「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」「世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。」「なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。」「この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから。」「けれども、あなたは聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます。」「だから感謝の戦士の祈禱会もあり、感謝の戦士、賛美隊として「喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき～」素晴らしいみわざ」が次々に起こってきましたが、2年続いて与えられたこの御言葉は結果を見て喜ぶのではなく、感謝と賛美を先ずささげたら、神のみわざが起こってくるという信仰に立ちました。救いとみわざはどんどん起こってきますが、これからさらに大きな主の働きが起こってくるので、「栄光を私たちの神に帰せよ。」と語られ、何一つ人の栄光にしてはならないことが語られてきました。そしていよいよ今年度は思いをはるかに越えた御言葉でした。「いつも主にあって喜びに満たされなさい。もう一度言います。喜びなさい」

もろもろの問題や困難の中で喜ぶことのできる人は、「ここから主の最善が起こるということを受け取り、そうすると決めた人。喜ぶことに決める決心をする人。」です。私達もそう決心しましょう！それは少しは苦しみが少なくなるために感謝すると言うのではなく、先ず主が私達を愛しておられ、全能の主が私達の益となるために悪いことをゆるされるのであって、問題の後ろにある神様のご計画が現われてくる為です。その為には語られる言葉に回答しなければなりません。感謝と賛美する歩みの中で、主の最善が起きると信じる対応なのです。いつも喜び、絶えず祈り、すべてのことを感謝するというこの3つはパックになっています。

私たちは神の子どもとされていますから、感謝し、喜び、なおなお義を行い、兄弟愛を持ってゆきましょう。また、礼拝の中で聖餐式を受けていますが、それはイエス様の弟子たちが受けたのです。(マタイ26:26)今、主の弟子として受けるべき訓練と学びを受けましょう！！

「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。」3:16

不法がはびこるこの時代に、愛が冷えていきます。私たちは早天礼拝を通して神の愛を十分に頂き、神の御声に回答してゆきましょう。教会に示されている事、自分に語られていることを行い、兄弟愛を示してゆきましょう。感謝して、賛美して、喜んで！！

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。